

「キャッタービル」完成

糸魚川市大町2の旧北越銀行糸魚川支店の建物改修工事が終わり、ビジネス拠点の新施設「キャッタービル」としてスタートする。22日、同ビル所有者で事業主体となる笠原建設（同市能生）の関連会社、マリンテンの鈴木秀城代表取締役やIT企業など入居事業所の代表者らがそろって竣工（しゅんこう）式を行った。



1階は同じ空間を共有しながら仕事をするコワーキングスペース（有料）。デューブル、デスクカウンターや4人、6人用会議室、金庫室をそのまま活用したりモット会議に使える4個室を備える。2階は貸しオフィス6室。3階は一般社団法人「キャリアステージ」といがわ「運営のテレワークオフィスと、ビ

糸魚川本町通り商店街振興組合の山岸美隆理事長、久保田市長、鈴木代表取締役、糸魚川商工会議所の高瀬会頭（右から）がテープカットを行って「キャッタービル」の完成を祝った

糸魚川市大町2・旧北越銀行跡

コワーキングや貸しオフィスなど ビジネス共創拠点に

ル利用者の休憩場所などとして飲食できる共用ラウンジを設けた。カウンターや通りの雁木、エントランス部分にはそれぞれ糸魚川産スギ、ブナ材を取り入れ、入り口床面にライトアップしたヒスイの原石、玄関付近の外装に姫川の石を配して糸魚川の特徴を盛り込んだ。ビルに併用してバス待ち合いのベンチも設置した。

目的。いろいろな方々が活躍して新たなビジネスを起こしていただきたい」と願った。

久保田郁夫市長は「10年先のまちづくり、教育、産業経済が進展していけるよう行政も共に歩んでいきたい」、糸魚川商工会議所の高瀬吉洋会頭は「駅北大火、銀行の店舗統合による閉鎖以来3年9カ月ぶりに扉が開いた。本町通りのにぎわい、駅北の盛り上げに」とそれぞれ期待を寄せた。



金庫室をリモット会議ブースに活用するなど銀行の構造を生かし、糸魚川産の木材を取り入れて各フロアをリニューアルした1階コワーキングスペース

